

東通原子力発電所
敷地の地形，地質・地質構造について
(ボーリング柱状図・コア写真)

平成29年3月17日
東北電力株式会社

ボーリング柱状図・コア写真 目次(重要施設直下の断層)

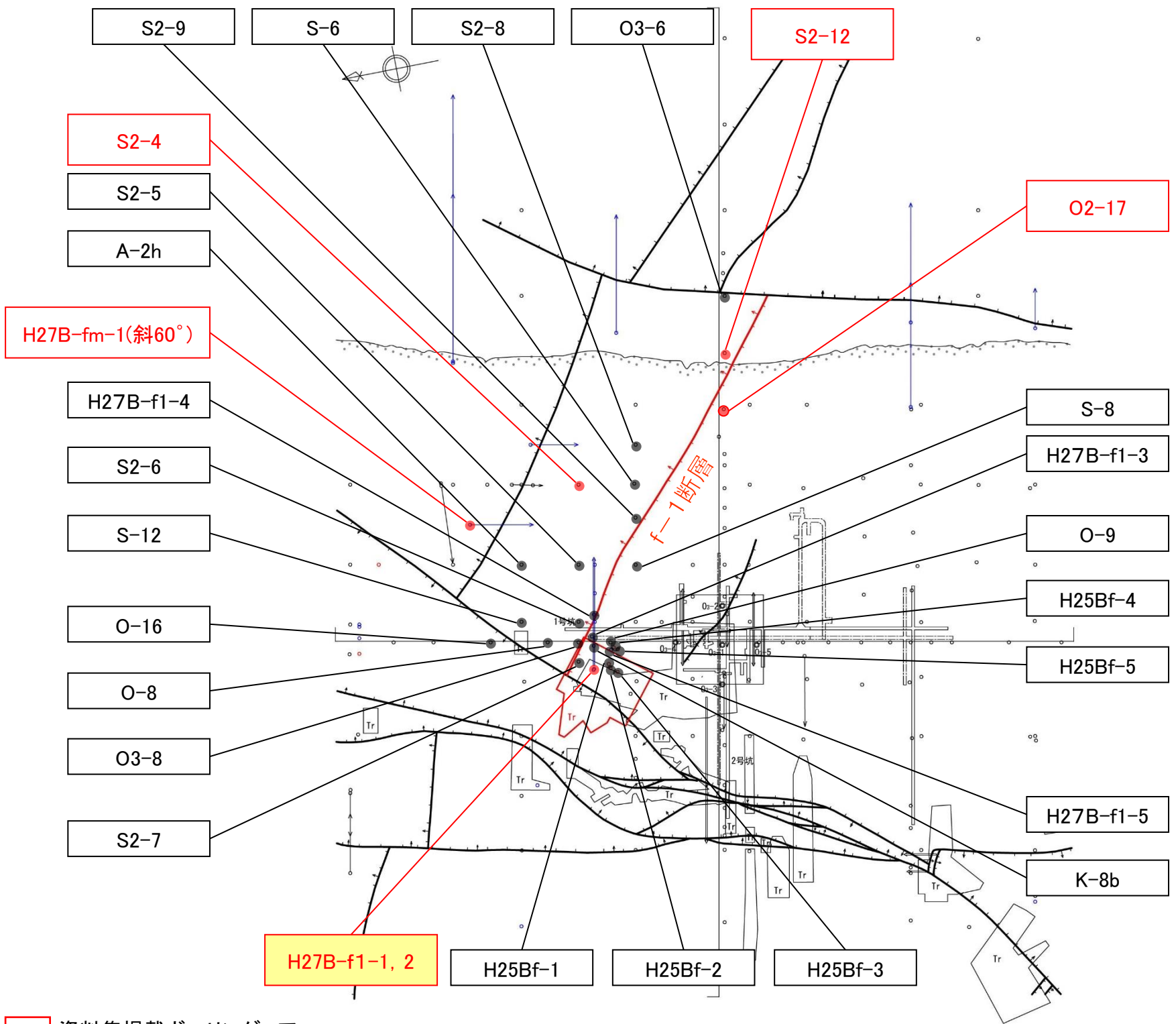
断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)	頁
f-1	O2-17	205.0	5~20	f1-1 ~ f1-4
	S2-4	101.0	55~70	f1-5 ~ f1-8
	S2-12	78.0	15~30	f1-9 ~ f1-12
	H27B-f1-1	14.0	3~14	f1-13 ~ f1-16
	H27B-f1-2	14.0	3~14	f1-17 ~ f1-20
	H27B-fm-1(斜60°)	111.0	93~108	f1-21 ~ f1-24
f-2	O-2	80.0	40~65	f2-1 ~ f2-4
	O-3	150.0	25~40	f2-5 ~ f2-8
	O-4	300.0	10~25	f2-9 ~ f2-12
	O-10	150.0	20~45	f2-13 ~ f2-16
	O3-1	220.0	5~20	f2-17 ~ f2-20
	O3-2	310.0	25~40	f2-21 ~ f2-24
	O3-4	305.0	15~40	f2-25 ~ f2-28
	O3-5	210.0	0~15	f2-29 ~ f2-32
	O3-7	307.0	45~70	f2-33 ~ f2-36
	S2-14	75.0	35~50	f2-37 ~ f2-40
m-a	O3-6	247.0	0~247	ma-1 ~ ma-20
	O3-11	200.0	0~200	ma-21 ~ ma-36
	H27B-ma-1(斜45°)	46.0	27~42	ma-37 ~ ma-40
	H27B-ma-2'(斜75°)	79.0	57~71	ma-41 ~ ma-44
	H27B-ma-4(斜45°)	150.0	75~90	ma-45 ~ ma-48
	H27B-ma-6	162.0	129~144	ma-49 ~ ma-52
	H27B-ma-9	258.0	234~249	ma-53 ~ ma-56
	H27B-ma-s1(斜30°)	200.0	134.5~149	ma-57 ~ ma-60
	H27B-ma-s2(斜30°)	150.0	56~69	ma-61 ~ ma-64
	H27B-ma-s3	121.0	90~105	ma-65 ~ ma-68
	H27B-ma-s4	270.0	189~207	ma-69 ~ ma-72
	H27B-ma-s5, s5'	100.0	21~30 57~71	ma-73 ~ ma-80
	H27B-ma-s6(斜45°)	45.0	27~39	ma-81 ~ ma-84

ボーリング柱状図・コア写真 目次(重要施設直下以外の断層)

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)	頁
F-8	K-31	250.0	200~215	F8-1 ~ F8-4
	A78-h8	315.0	79~94	F8-5 ~ F8-8
	H27B-F8-1	212.0	171~184	F8-9 ~ F8-12
	H27B-F8-2	223.0	204~219	F8-13 ~ F8-16
	K-19	235.0	190~205	F8-17 ~ F8-20
	O2-10	210.0	185~200	F8-21 ~ F8-24
F-10	A78-h8	315.0	144~171	F10-1 ~ F10-4
	H27B-F8-2	223.0	138~153	F10-5 ~ F10-8

ボーリング調査位置図(敷地内):f-1断層

断層はT.P.約-16mの分布を示す



資料集掲載ボーリングコア

破砕部分析(研磨片, 薄片等)実施コア

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
f-1	O-8	150.0	
	O-9	80.0	
	O-16	80.0	
	O2-17	205.0	5~20
	O3-6	247.0	
	O3-8	307.0	
	S-6	63.0	
	S-8	84.0	
	S-12	80.0	
	S2-4	101.0	55~70
	S2-5	109.0	
	S2-6	100.0	
	S2-7	105.0	
	S2-8	95.0	
S2-9	91.0		

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
f-1	S2-12	78.0	15~30
	A-2h	100.0	
	K-8b	30.0	
	H25Bf-1	15.0	
	H25Bf-2	17.0	
	H25Bf-3	15.0	
	H25Bf-4	18.0	
	H25Bf-5	35.0	
	H27B-f1-1	14.0	3~14
	H27B-f1-2	14.0	3~14
	H27B-f1-3	35.0	
H27B-f1-4	36.0		
H27B-f1-5	22.0		
H27B-fm-1(斜60°)	111.0	93~108	

凡例

- 炉心ボーリング位置
- 鉛直ボーリング位置 (昭和49年度~平成8年度実施)
- 斜めボーリング位置 (昭和49年度~平成8年度実施)
- 水平ボーリング位置 (昭和49年度~平成8年度実施)
- 鉛直ボーリング位置 (平成22年度~平成25年度実施)
- 鉛直ボーリング位置 (平成26年度以降実施)
- 斜めボーリング位置 (平成26年度以降実施)
- 水平ボーリング位置 (平成26年度以降実施)
- 試掘坑
- 補足調査坑
- Tr トレンチ (昭和49年度~平成8年度実施)
- Tr トレンチ (平成22年度~平成25年度実施)
- 確認断層 (ケバは落ちの方向, 矢印は面の傾斜方向)

iv

ボーリング調査位置図(敷地内):f-2断層

断層はT.P.約-16mの分布を示す

資料集掲載ボーリングコア

※ 断層破碎部が確認されなかったボーリングコア

0 50 100 200 m

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
f-2	O-2	80.0	40~65
	O-3	150.0	25~40
	O-4	300.0	10~25
	O-10	150.0	20~45
	O3-1	220.0	5~20
	O3-2	310.0	25~40
	O3-4	305.0	15~40
	O3-5	210.0	0~15
	O3-7	307.0	45~70
	S2-14	75.0	35~50

凡例

- 炉心ボーリング位置
- 鉛直ボーリング位置
(昭和49年度~平成8年度実施)
- 斜めボーリング位置
(昭和49年度~平成8年度実施)
- 水平ボーリング位置
(昭和49年度~平成8年度実施)
- 鉛直ボーリング位置
(平成22年度~平成25年度実施)
- 鉛直ボーリング位置
(平成26年度以降実施)
- 斜めボーリング位置
(平成26年度以降実施)
- 水平ボーリング位置
(平成26年度以降実施)
- 試掘坑
- 補足調査坑
- Tr トレンチ
(昭和49年度~平成8年度実施)
- Tr トレンチ
(平成22年度~平成25年度実施)
- 確認断層
(ケバは落ちの方向, 矢印は面の傾斜方向)

v

ボーリング調査位置図(敷地内): m-a断層

0 100 200 300 400 500 m

* 地形図は空中写真(平成5年撮影)及び航空レーザー測量(平成19年)によるDEMから作成 (等高線は1.0m間隔)

資料集掲載ボーリングコア

破砕部分析(研磨片, 薄片等)実施コア

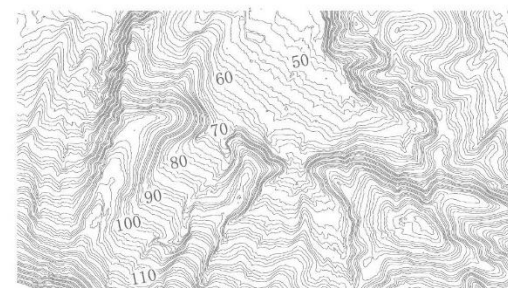
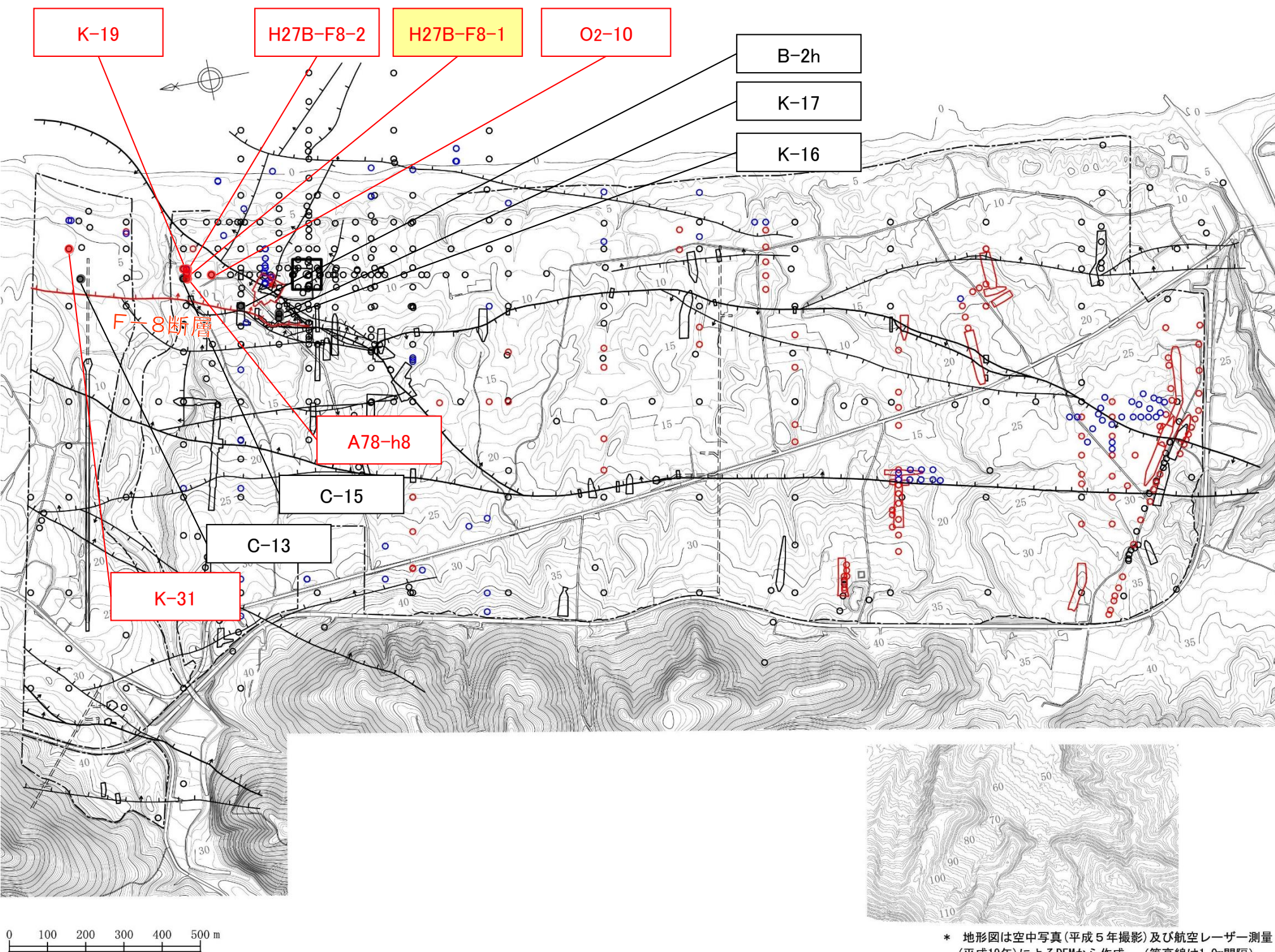
断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
m-a	O3-6	247.0	0~247
	O3-11	200.0	0~200
	S2-28	168.0	
	H25B-ma2(斜60°)	70.0	
	H27B-ma-1(斜45°)	46.0	27~42
	H27B-ma-2'(斜75°)	79.0	57~71
	H27B-ma-4(斜45°)	150.0	75~90
	H27B-ma-6	162.0	129~144
	H27B-ma-9	258.0	234~249
	H27B-ma-s1(斜30°)	200.0	134.5~149
	H27B-ma-s2(斜30°)	150.0	56~69
	H27B-ma-s3	121.0	90~105
H27B-ma-s4	270.0	189~207	

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
m-a	H27B-ma-s5	100.0	21~30 57~71
	H27B-ma-s6(斜45°)	45.0	27~39

凡例

○	ボーリング (昭和49年度~平成8年度実施)
◻	トレンチ (昭和49年度~平成8年度実施)
○	ボーリング (平成22年度~平成25年度実施)
◻	トレンチ (平成22年度~平成25年度実施)
○	ボーリング (平成26年度以降実施)
⋯⋯	試掘坑
---	敷地境界
↑ f-3 ↑	主要断層
↑ f-b ↑	その他の断層(破線は推定断層) (ケバは落ちの方向, 矢印は面の傾斜方向)

ボーリング調査位置図(敷地内):F-8断層



* 地形図は空中写真(平成5年撮影)及び航空レーザー測量(平成19年)によるDEMから作成 (等高線は1.0m間隔)

資料集掲載ボーリングコア

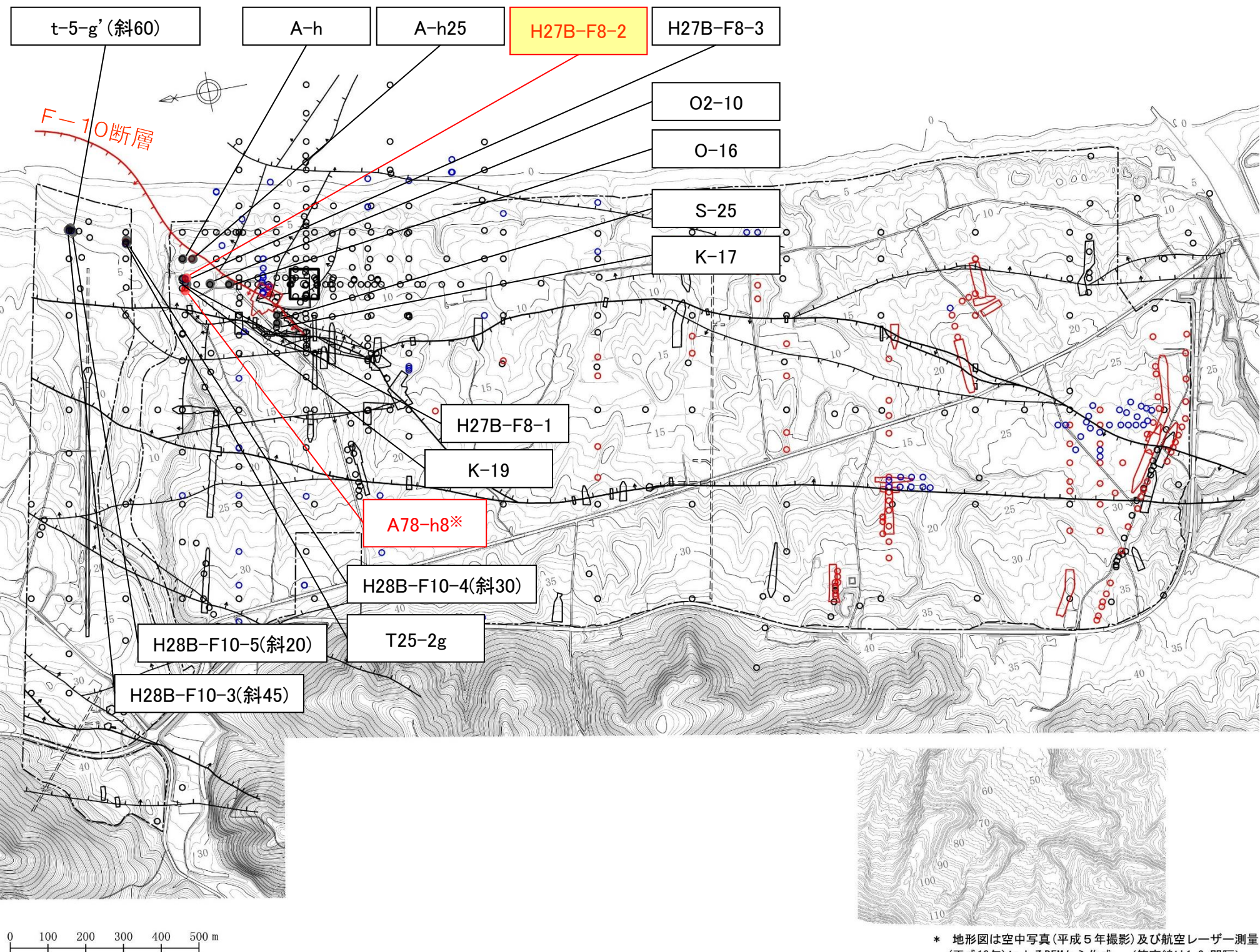
破砕部分析(研磨片, 薄片等)実施コア

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
F-8	K-31	250.0	200~215
	C-13	53.0	
	C-15	103.0	
	A78-h8	315.0	79~94
	H27B-F8-1	212.0	171~184
	H27B-F8-2	223.0	204~219
	K-19	235.0	190~205
	O2-10	210.0	185~200
	B-2h	50.0	
	K-16	160.0	
K-17	210.0		

凡例

○	ボーリング (昭和49年度~平成8年度実施)
◻	トレンチ (昭和49年度~平成8年度実施)
○	ボーリング (平成22年度~平成25年度実施)
◻	トレンチ (平成22年度~平成25年度実施)
○	ボーリング (平成26年度以降実施)
⋯⋯	試掘坑
---	敷地境界
↑ F-3 ↑	主要断層
↑ f-b ↑	その他の断層(破線は推定断層) (ケバは落ちの方向, 矢印は面の傾斜方向)

ボーリング調査位置図(敷地内):F-10断層



資料集掲載ボーリングコア ※ 断層破碎部が確認されなかったボーリングコア

破碎部分析(研磨片, 薄片等)実施コア

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
F-10	H28B-F10-3(斜45)	350.0	
	H28B-F10-4(斜30)	300.0	
	H28B-F10-5(斜20)	300.0	
	T-5-g'(斜60)	350.0	
	T25-2g	295.0	
	A-h	100.0	
	A78-h8	315.0	144~171
	K-19	235.0	
	H27B-F8-1	212.0	
	H27B-F8-2	223.0	138~153
	H27B-F8-3	160.0	
A-h25	334.0		
O2-10	208.0		

断層名	ボーリング孔番	掘進長 (m)	掲載深度 (m)
F-10	O-16	80.0	
	S-25	65.0	
	K-17	210.0	

凡例

○	ボーリング (昭和49年度~平成8年度実施)
◻	トレンチ (昭和49年度~平成8年度実施)
●	ボーリング (平成22年度~平成25年度実施)
◻	トレンチ (平成22年度~平成25年度実施)
○	ボーリング (平成26年度以降実施)
┌──┐	試掘坑
──	敷地境界
↑ F-3 ↓	主要断層
↑ f-b ↓	その他の断層(破線は推定断層) (ケバは落ちの方向, 矢印は面の傾斜方向)

02-17孔

(f-1 断層)

02-17 孔

孔口標高 T.P. 2.07 m
 掘進長 205.00 m

標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色 調	風化 区分	コア採取率 (%)		観察事項	
									最大コア長 cm			
									R	Q D		
		0 20 40 60 80 100										
6				泊層上部層	tb	v	暗褐	3	100	100	5.00m~6.95m: 礫は褐色を呈す。	
7									100	100	6.18m: 傾斜約10°の割れ目。幅1.0cm~1.5cmの粘土混じりの砂状部を挟在する。面には若干、凸凹がある。	
8									100	100	6.64m, 6.68m, 6.73m: 傾斜約70°の割れ目。フィルム状で黄褐色の粘土状部を挟在し、条線を伴う。	
9	8.69	-6.62				tb	φ	黒褐		100	100	6.95m~8.00m: 基質は褐色を呈す。
10	9.30	-7.23				tf	φ	緑黒		100	100	9.17m: 傾斜約20°の割れ目。幅2cmで暗オリーブ色の粘土状部を挟在する。
11	10.61	-8.54				tb	φ			100	100	
12	11.23	-9.16				tf	φ			100	100	
13	11.63	-9.56				lp	φ			100	100	
14	12.20	-10.13				tb	φ	黒褐		100	100	13.40m~13.60m: f-1断層。傾斜約10~30°の破碎部。幅20cmの粘土混じり岩片状からなり、鏡肌、条線を伴う。
15	13.40	-11.33				fault	-			100	100	13.50m~14.21m: ガラス質と石質が10cm~20cm単位で互層状をなす。
16	13.60	-11.53				tb	φ	緑黒		100	100	16.81m: ガラス質と石質の境界は明瞭である。
17	13.80	-11.73				tb	v			100	100	18.32m: 傾斜約20°の割れ目。幅0.5cm~0.7cmでオリーブ黒色の粘土混じり砂状部を挟在する。
18	16.81	-14.74				tf	φ			100	100	
19	18.55	-16.48		lp	φ	黒褐		100	100			
20	19.04	-16.97		tb	v			100	100			
	20.00	-17.93										

O2-17 孔

孔口標高: T.P. 2.07 m

掘進長: 205.00 m

5.00~20.00 m



余 白

S2-4孔

(f-1断層)

S2-4 孔

孔口標高 T.P. 5.54 m 掘進長 101.00 m

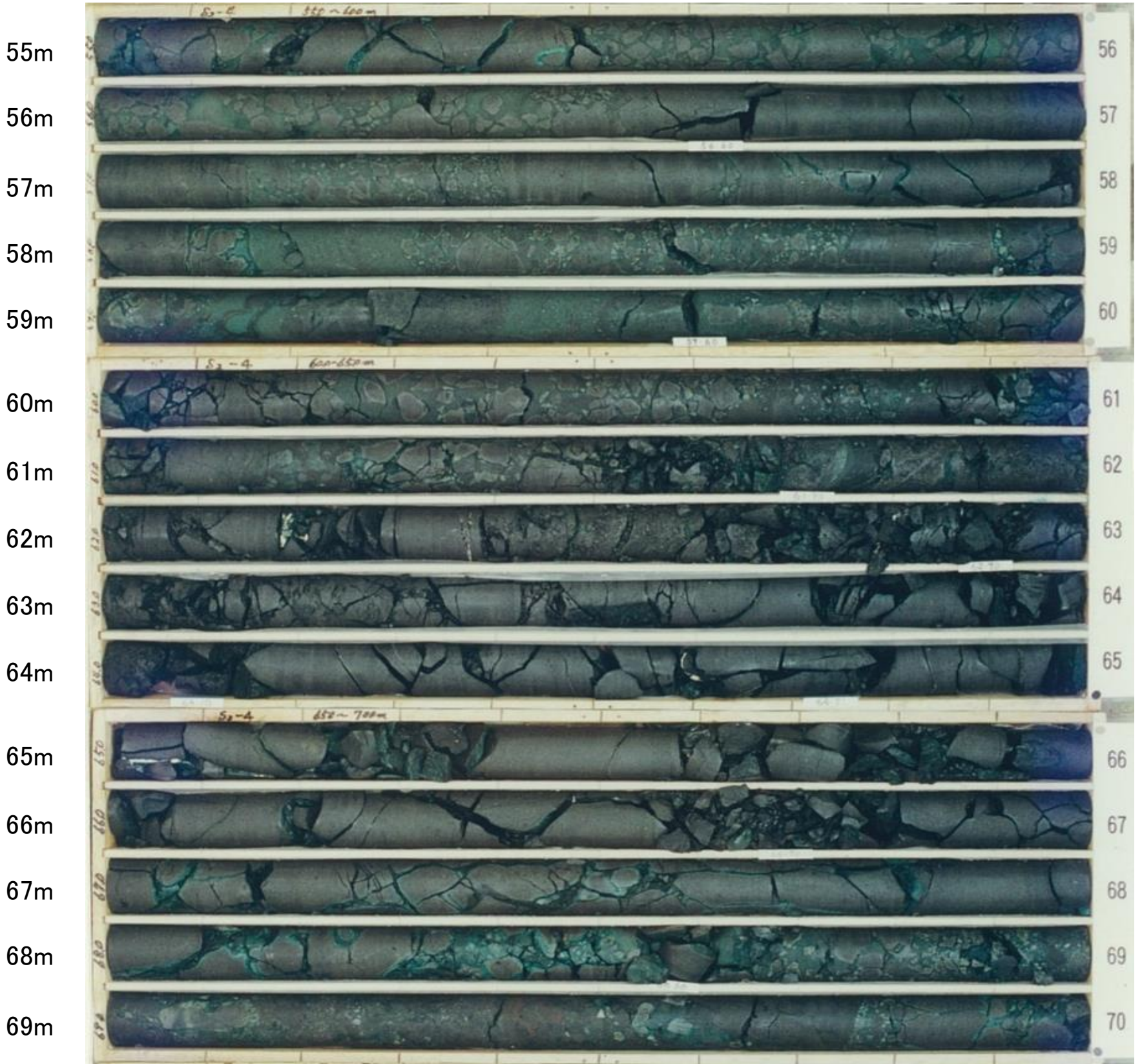
標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項			
									→					
									最大コア長 cm					
									R	Q D [%]				
									0 20 40 60 80 100					
56				泊層上部層	an	bt	暗緑							
57		暗緑												
58													58.10m~58.16m: 緑色変質鈹物脈。	
59													58.41m~60.00m: 多孔質な異質礫を多く混入する。又、基質も上部に比較するとやや粗粒で軟質となる。同質安山岩礫には急冷周縁相が認められるが、異質礫にはこれが見られない。所々に暗褐色の異質礫点在。混入率1.0%以下。	
60														
61														
62	62.70	-57.16												61.75m~61.79m: f-1断層。上盤の傾斜約45°, 下盤の傾斜約40°の断層。幅4cmで上盤より0.3cmで粘土状部、幅4cmでシエアゾーンを伴い、鏡肌、条線を伴う。
63														62.40m~63.35m: 亀裂多く岩片~短い棒状、コアもやや軟質。
64														63.35m~65.00m: 亀裂間隔10cm以下で岩片~短棒状、コアは硬質。所々に方解石の脈(厚さ1.0mm程度)が見られる。方解石脈66.30m付近まで見られる。
65									an	m	暗灰			65.20m~65.40m, 65.60m~65.90m, 66.55m~66.80m: 礫状~岩片状コア、新鮮硬質。
66														
67										67.07m: 傾斜約35°の緑色変質鈹物脈。条線を伴う。				
68	68.10	-62.56								67.30m: 傾斜約30°の緑色変質鈹物脈。				
69	68.95	-63.41			an	bv	暗青緑							
							灰オリーブ緑							
	69.76	-64.22			an	bt	黒褐							
70	70.00	-64.46			an	bv	暗青緑			68.95m~69.76m: 角礫状構造が不明瞭となる。多孔質な礫が見られ、ややポーラスである。				

S2-4 孔

孔口標高:T.P. 5.54 m

掘進長:101.00 m

55.00~70.00 m



余 白

S2-12孔

(f-1断層)

S2-12 孔

孔口標高 T.P. 1.47 m 掘進長 78.00 m

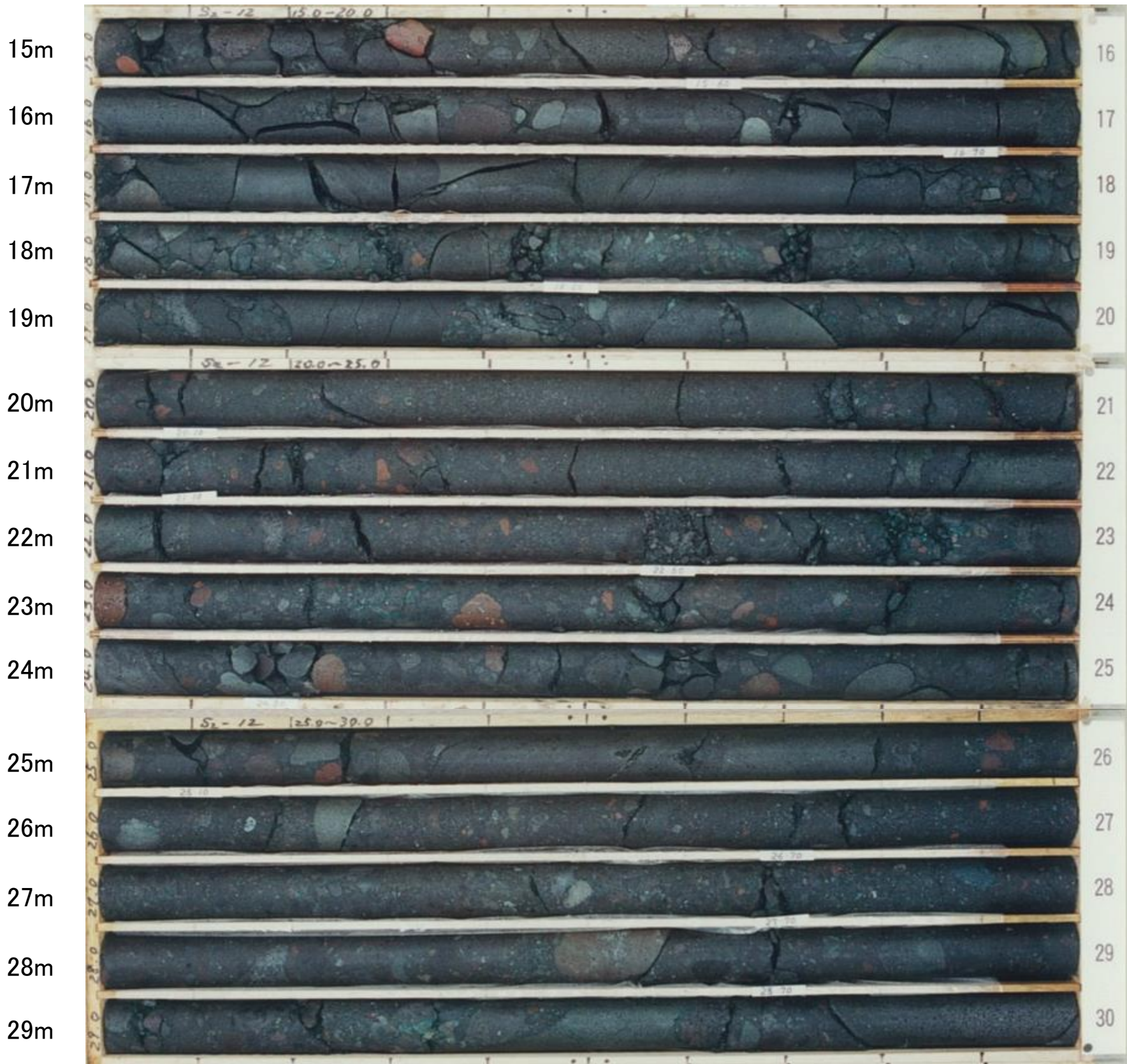
標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色 調	風化 区分	コア採取率 → (%)		観察事項	
									最大コア長 cm			
									R Q D [%]			
0 20 40 60 80 100												
16			泊層上部層		tb	ø	オリーブ黒		16	[48]	17.77m~19.50m: 全体に固結度の低い部分を伴い、コアは礫状及び割れ目の著しい性状を呈す。	
17									16	[51]		
18									20	[31]		
19									18	[66]		
20	20.12	-18.65							16	[48]		
21									39	[66]		20.12m~22.85m: 火山礫凝灰岩は礫率が低く、泥岩質凝灰岩との中間の礫率である。
22	21.70	-20.23							28	[72]		
23	22.20	-20.73							29	[70]		22.26m~22.32m: 局部的に緑色変質あり。
24	22.85	-21.38							37	[64]		
25	23.91	-22.44							35	[73]		23.91m~24.06m: f-1断層。傾斜35°, 見掛け幅15cm (23.91m~23.98mは角礫状, 23.98m~24.06mは粘土状)。鏡肌・条線あり。条線上盤R45°, 下盤コア密着のため不明。
26	24.06	-22.59	43	[100]	24.06m~24.08m: 断層影響部。							
27			泊層上部層		tb	ø		29	[87]	24.06m~25.35m: 直径3cm~6cmの円礫を多量に混在する。		
28	26.06	-24.59						45	[98]			
29	27.90	-26.43						38	[100]	28.44m~28.57m: 石質部を伴う。		
30	28.97	-27.50						31	[96]			
	30.00	-28.53										

S2-12 孔

孔口標高:T.P. 1.47 m

掘進長:78.00 m

15.00~30.00 m



余 白

H27B-f1-1孔

(f-1断層)

H27B-f1-1 孔

孔口標高 T. P. 2. 28 m 掘進長 14. 00 m

標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色 調	風化 区分	コア採取率		観察事項	
									→ (%)			
									最大コア長 cm			
									R Q D [%]			
0 20 40 60 80 100												
4				泊層上部層	tf	φ	暗緑灰		29	100	3. 00~5. 01m : 粗粒凝灰岩。厚さ0. 3~0. 5cmの細粒部を頻繁に挟む。 3. 15m : 傾斜約20° の変質鉱物脈。	
5	5. 01	-2. 73			tb	φ			38	100	5. 01~6. 66m : 径10~20cmの大礫が主体。	
6	6. 45	-4. 17			tb	v	暗紫灰		24	100	6. 66~7. 85m : 粗粒凝灰岩。 6. 70m付近 : 傾斜約25° の葉理が認められる。	
7	6. 66	-4. 38							23	100	7. 85~8. 23m : 径4~6cmの歪角~歪円礫が主体。	
8	7. 85	-5. 57		tf	φ	暗緑灰	27	100	8. 54~8. 57m : f - 1 断層破碎部。 8. 54~8. 56m : 細片~鱗片状。 8. 56~8. 57m : 粘土状(軟質)。上下面ともに傾斜約40° 。			
9	8. 54	-6. 26		tb	φ		25	100	8. 57~9. 10m : 礫質凝灰岩。径1cm以下の礫が点在し、所々中~大礫を含む。			
	8. 57	-6. 29		tf	φ	オリブ黒	29	100	9. 10~10. 65m : 粗粒凝灰岩。全体に傾斜0° ~7° の弱い葉理発達。上方細粒化する。			
10	9. 10	-6. 82		tf	φ		37	100	10. 65~12. 81m : 大礫主体の凝灰角礫岩に一部火山礫凝灰岩を伴い、所々礫質凝灰岩を挟む。 11. 25m : 傾斜約30° の葉理が認められる。 12. 10m : 傾斜約5° の葉理が認められる。			
11	10. 65	-8. 37		tb	φ	暗緑灰	24	100	12. 81~13. 45m : 礫質凝灰岩。傾斜約3° ~約5° の葉理が明瞭。			
12	12. 81	-10. 53		tf	φ		41	100	13. 45~13. 78m : 粗粒凝灰岩。上位層とは異なりスコリア質。 13. 78~14. 00m : やや多孔質な火山礫凝灰岩。基質が緑色を帯びている部分が目立つ。			
13	13. 45	-11. 17		tf	φ							
14	13. 78	-11. 50		lp	φ							
	14. 00	-11. 72										

H27B-f1-1 孔

孔口標高:T.P. 2.28 m

掘進長:14.00 m

3.00~14.00 m



余 白

H27B-f1-2孔

(f-1 断層)

H27B-f1-2 孔

孔口標高 T.P. 2.26 m 掘進長 14.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項	
									最大コア長 cm			
									R Q D [%]			
0 20 40 60 80 100												
4				泊層上部層	tf	0	暗オリーブ灰				3.00~5.17m: 石質の粗粒凝灰岩。部分的に円礫含む。	
5	5.17	-2.91			暗オリーブ灰							5.17~6.58m: 巨礫を含む凝灰角礫岩。 5.48~5.86m: 径38cmの巨礫。
6	6.20	-3.94			tb	0	暗オリーブ灰					
	6.58	-4.32			tb	v	黒褐					
7	7.74	-5.48			tf	0	暗オリーブ灰					6.58~7.74m: 粗粒凝灰岩。 7.29~7.47m: 径18cmの楕円形の安山岩礫を含む。
8	8.21	-5.95			tf	0	暗オリーブ灰					7.74~8.21m: 礫質凝灰岩。
	8.46	-6.20			fault	-						8.21~8.46m: f-1断層。上面の傾斜約20°, 下面の傾斜約35°の破碎部。
	8.57	-6.31			tb	0	オリーブ黒					上面に幅3~8mmのセピオライト挟在。下面は幅5~7mmのやや軟質な暗灰色粘土を伴う。
9				tf	0	オリーブ黒					8.57~9.30m: 細~中粒凝灰岩。下部は極細粒。	
10	10.63	-8.37				暗緑灰					9.30~10.63m: 全体的にスコリア質の粗~極粗粒凝灰岩。 10.00~10.09m: 緑色変質部。	
11				tb	0	オリーブ黒					10.83~11.44m: 径61cmの巨礫。	
12												
13	12.79	-10.53		tf	0						12.79~13.54m: 全体に緻密な中~細粒凝灰岩。礫が3~8%程度点在。	
	13.54	-11.28		tf	0							
	13.80	-11.54	tf	0								
14	14.00	-11.74	lp	0								

H27B-f1-2 孔

孔口標高:T.P. 2.26 m

掘進長:14.00 m

3.00~14.00 m



余 白

H27B—fm—1 (斜60°) 孔

(f—1 断層)

H27B-fm-1 (斜60°) 孔

孔口標高 T. P. 13.06 m 掘進長 111.00 m

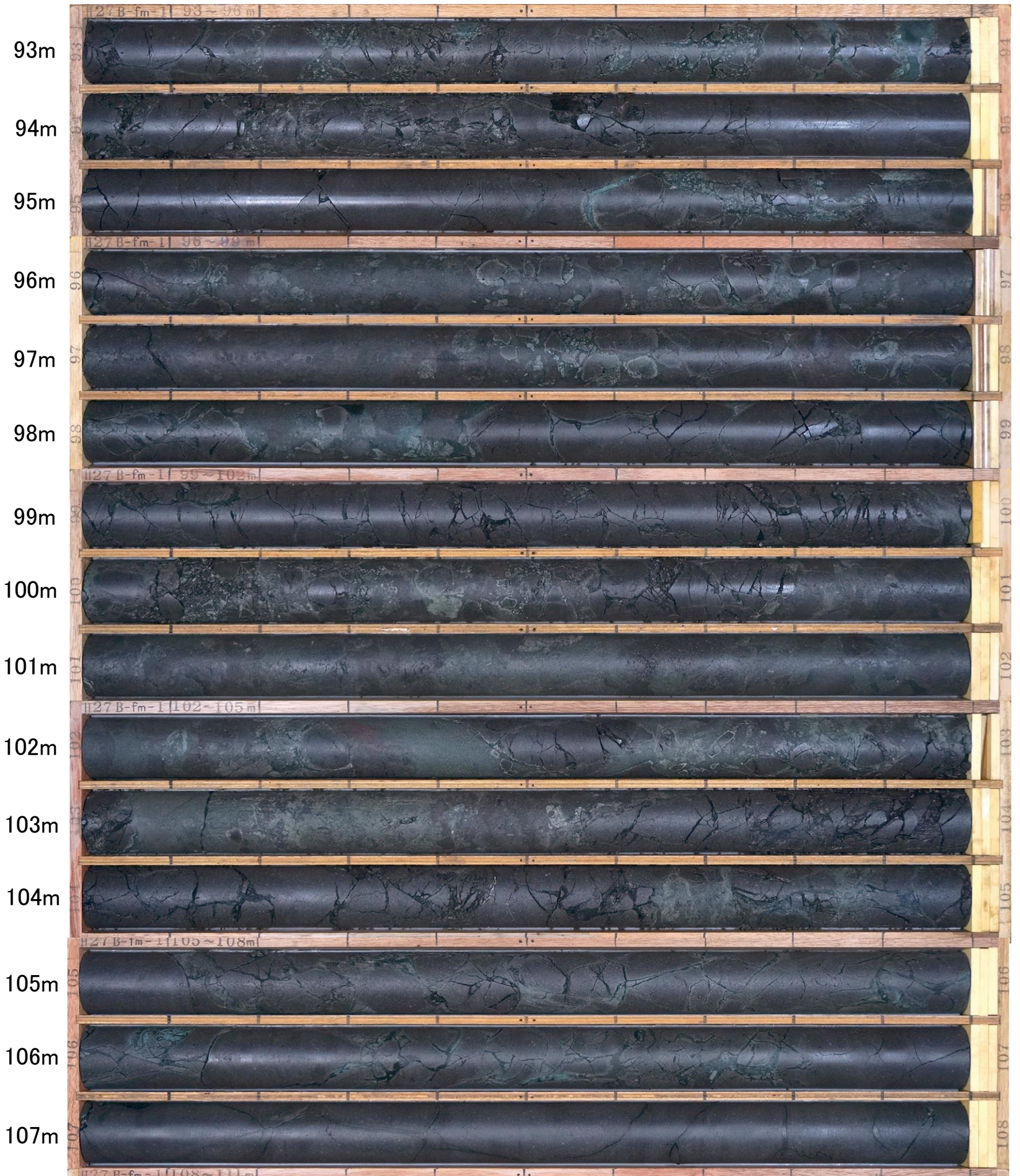
標尺 m	深 度 m	標高 (T. P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項
									最大コア長 cm	R Q D [%]	
94					an	bt	黒		80 [86]	100	93.00~98.44m : 礫に急冷周縁相が認められ、基質は全体に緑色を帯びる。
95				ホ-ブ ⁺ 黒			32 [57]	100			
96				黒褐			33 [88]	100			
97				青緑			82 [93]	100			
98	98.44	-72.19			an	m	黒褐		71 [100]	100	98.44~99.96m : 3~5cm間隔で割れ目が発達。
99				黒褐			43 [91]	100			
100	99.96 100.21 100.23	-73.51 -73.72 -73.74		an fault			bt	暗ホ-ブ ⁺ 灰 赤黒 黒褐	7 [10]	100	
101					an	bt	暗ホ-ブ ⁺ 灰		69 [86]	100	100.23~103.58m : 礫に急冷周縁相が認められる。基質は細~中粒凝灰岩よりなり、全体に緑色を帯びる。
102				暗ホ-ブ ⁺ 灰			75 [100]	100			
103	103.58	-76.64			an	m	黒褐		100 [100]	100	104.65~104.74m, 105.14~105.39m, 105.89~106.81m : 角礫状をなし、基質は緑色を帯びる。
104				黒褐			54 [66]	100			
105				暗ホ-ブ ⁺ 灰			36 [38]	100			
106				黒褐			41 [92]	100			
107					an	m	黒褐		37 [94]	100	
108	108.00	-80.47		黒褐			26 [90]	100			

H27B-fm-1(斜60°)孔

孔口標高:T.P. 13.06 m

掘進長:111.00 m

93.00~108.00 m



余 白

○－2孔

(f－2断層)

0-2 孔

孔口標高 T.P. 7.63 m 掘進長 80.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項			
									最大コア長 cm					
									R	Q D				
0 20 40 60 80 100														
41	40.55	-32.92		泊層上部層	lp	ℓ	灰オリーブ*		42	[97]	100	<p>41.30m : 傾斜約22°の変質鉱物脈。幅1~2mmの粘土を含み、鏡肌を伴う。周辺は岩片状を呈する。</p> <p>48.21~48.30m : 基質部が若干青緑色化している。</p> <p>49.00~49.05m : 基質部が若干青緑色化している。</p> <p>51.68~52.94m : 安山岩の巨礫である。</p> <p>57.00~59.05m : 塊状安山岩溶岩中に幅1~3mm程度の方解石細脈を伴う。 57.20~57.33m : 基質部が淡緑色に変質している。 57.21~57.24m : 礫状部の周辺が青緑色に変質し、若干粘土化する。</p> <p>62.65~62.75m : 凝灰岩を狭在する。</p> <p>63.90~63.96m : 礫状部の周辺が青緑色化している。</p> <p>64.76~64.80m, 64.90~65.00m : 礫状部周辺が青緑色に変質し、若干の粘土を伴う。</p>		
42										19	[29]		100	
43										22	[88]		100	
44										20	[67]		100	
45							tf	ℓ	オリーブ* 灰		29		[98]	100
46										21	[100]		100	
47										30	[88]		100	
48										23	[99]		100	
49										59	[87]		100	
50	50.00	-42.37					tb	ℓ	灰オリーブ*		23		[76]	100
51	50.60	-42.97			tf	ℓ		31		[81]	100			
52	51.68	-44.05			tb	ℓ	灰		32	[54]	100			
53	53.15	-45.52			an	bt	オリーブ* 褐		23	[45]	100			
54									20	[46]	100			
55									9	[0]	100			
56									9	[0]	100			
57	57.00	-49.37							18	[38]	100			
58									20	[90]	100			
59									22	[89]	100			
60					an	m	黄灰		27	[61]	100			
61									21	[59]	100			
62							暗オリーブ* 褐		17	[38]	100			
63									21	[33]	100			
64	64.12	-56.49					褐灰		24	[37]	100			
65	65.00	-57.37			an	bv			12	[55]	100			

O-2 孔

孔口標高:T.P. 7.63 m

掘進長:80.00 m

40.00~65.00 m

40m
41m
42m
43m
44m
45m
46m
47m
48m
49m
50m
51m
52m
53m
54m
55m
56m
57m
58m
59m
60m
61m
62m
63m
64m



余 白

○－3孔

(f－2断層)

0-3 孔

孔口標高 T.P. 6.73 m 掘進長 150.00 m

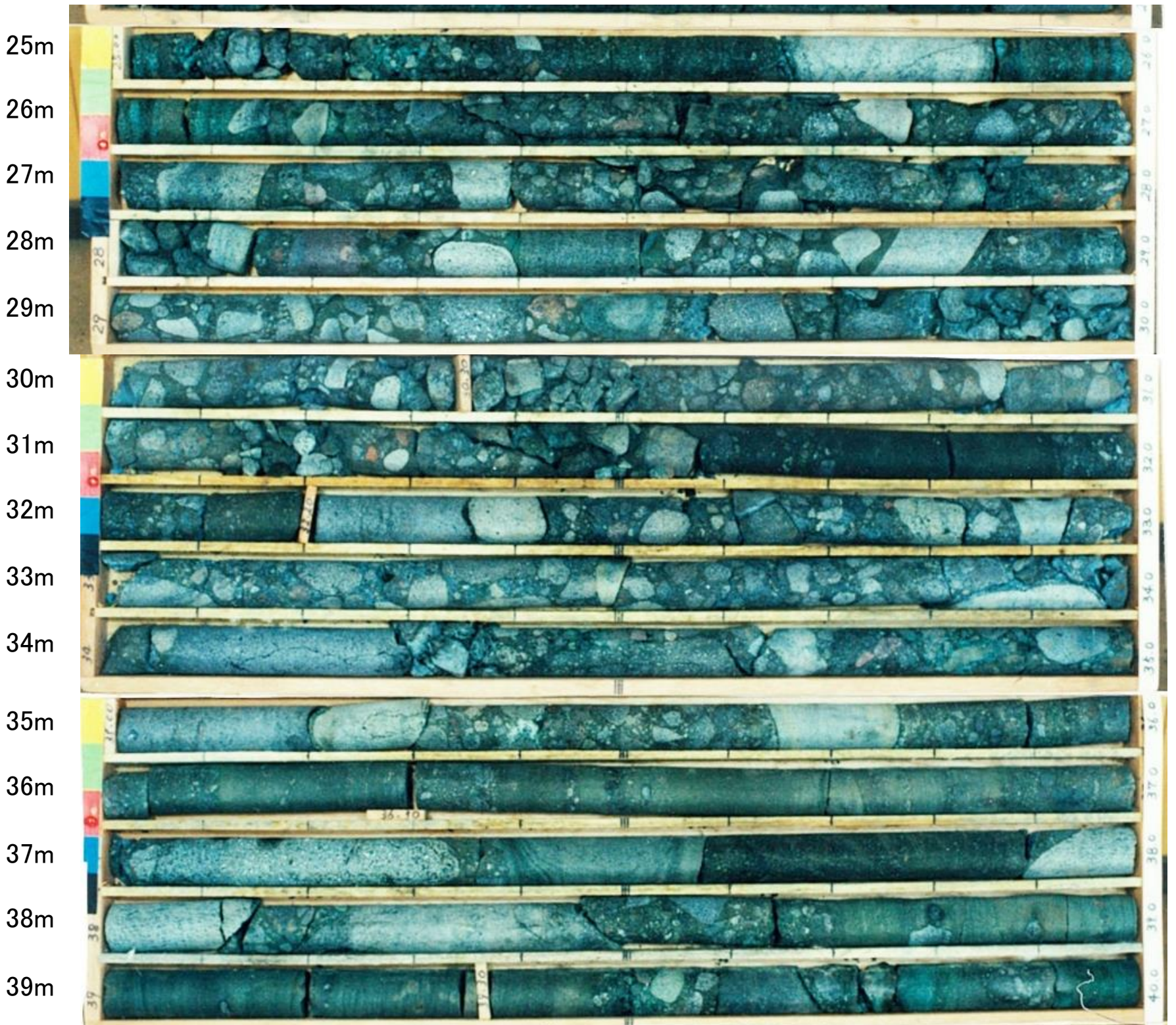
標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項
									最大コア長 cm		
									R	Q D	
0 20 40 60 80 100											
26	25.44	-18.71		泊層上部層	lp	ℓ	暗黄緑		26	[79]	25.97m: 傾斜約10°の層理面。 26.04m: 傾斜約5°の層理面。
	26.12	-19.39			tf	ℓ				[89]	
27				泊層上部層	tb	ℓ			24	[65]	27.00~30.00m: 礫中に円礫の割合が多くなる。
28										17	
29				泊層上部層	fault	-			20	[58]	29.80~30.00m: 岩片状コア。 30.00~35.00m: 礫中に円礫の割合が多くなる。 30.29~30.51m: f-2断層。岩片状を呈する。
30	30.29 30.51	-23.56 -23.78								14	
31				泊層上部層	tb	ℓ	暗褐		24	[57]	31.13~31.22m: 岩片状コア。 31.35~31.50m: 岩片状コア。
32	31.71 31.94	-24.98 -25.21								16	
33				泊層上部層	tb	ℓ			23	[62]	
34										25	[84]
35				泊層上部層	tf	ℓ			23	[100]	34.82~34.86m: 基質の一部が青緑色を呈する。
36	36.11	-29.38								40	
37				泊層上部層	tb	ℓ	暗オリーブ		31	[98]	36.65m: 傾斜約10°の層理面。 37.77m: 傾斜約5°の層理面。
38	37.57 37.92	-30.84 -31.19								30	
39				泊層上部層	tf	ℓ			19	[85]	38.93m: 傾斜約10°の層理面。 39.05m: 傾斜約5°の層理面。 39.50~39.78m, 39.90~40.00m: 層状に挟在する凝灰角礫岩の基質ならびに凝灰岩の一部が青緑色を呈する。
40	40.00	-33.27									

O-3 孔

孔口標高: T.P. 6.73 m

掘進長: 150.00 m

25.00~40.00 m



余 白

○－4孔

(f－2断層)

0-4 孔

孔口標高 T.P. 7.41 m 掘進長 300.00 m

標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 → (%)		観 察 事 項
									最大コア長 cm		
									R Q D [%]		
0 20 40 60 80 100											
11	10.32	-2.91		泊層上部層	tf	∅	暗褐	2	22	[80]	10.32~11.00m: 基質部に若干青緑色を帯びる部分がみられる。
12									25	[66]	
13					tb	v	黒褐		19	[56]	
14									13	[66]	
15									25	[76]	
16	16.12	-8.71		f-2断層	fault	-	暗褐	17	[27]	16.12~16.35m: f-2断層。細片, 岩片状をなすが破砕性状は不明瞭。 16.57~17.43m: 安山岩の巨礫を含む。	
17	16.35	-8.94			tb	v	褐灰	24	[52]		
18	17.43	-10.02		泊層上部層	lp	v	暗褐	30	[85]	21.00~22.00m: 基質部に細粒な部分がみられ, 5~15mmぐらいの幅で互層する。	
19	19.08	-11.67			tf	∅	黒褐	26	[92]		
20	19.33	-11.92						25	[85]		
21					tb	v		26	[72]		
22								33	[87]		
23					26	[72]					
24	23.63	-16.22			tf	∅	カーブ灰	31	[75]		
25	24.40	-16.99			lp	∅	黒褐	28	[94]		
	25.00	-17.72									

O-4 孔

孔口標高:T.P. 7.41 m

掘進長:300.00 m

10.00~25.00 m



余 白

○－10孔

(f－2断層)

0-10 孔

孔口標高 T.P. 8.05 m 掘進長 150.00 m

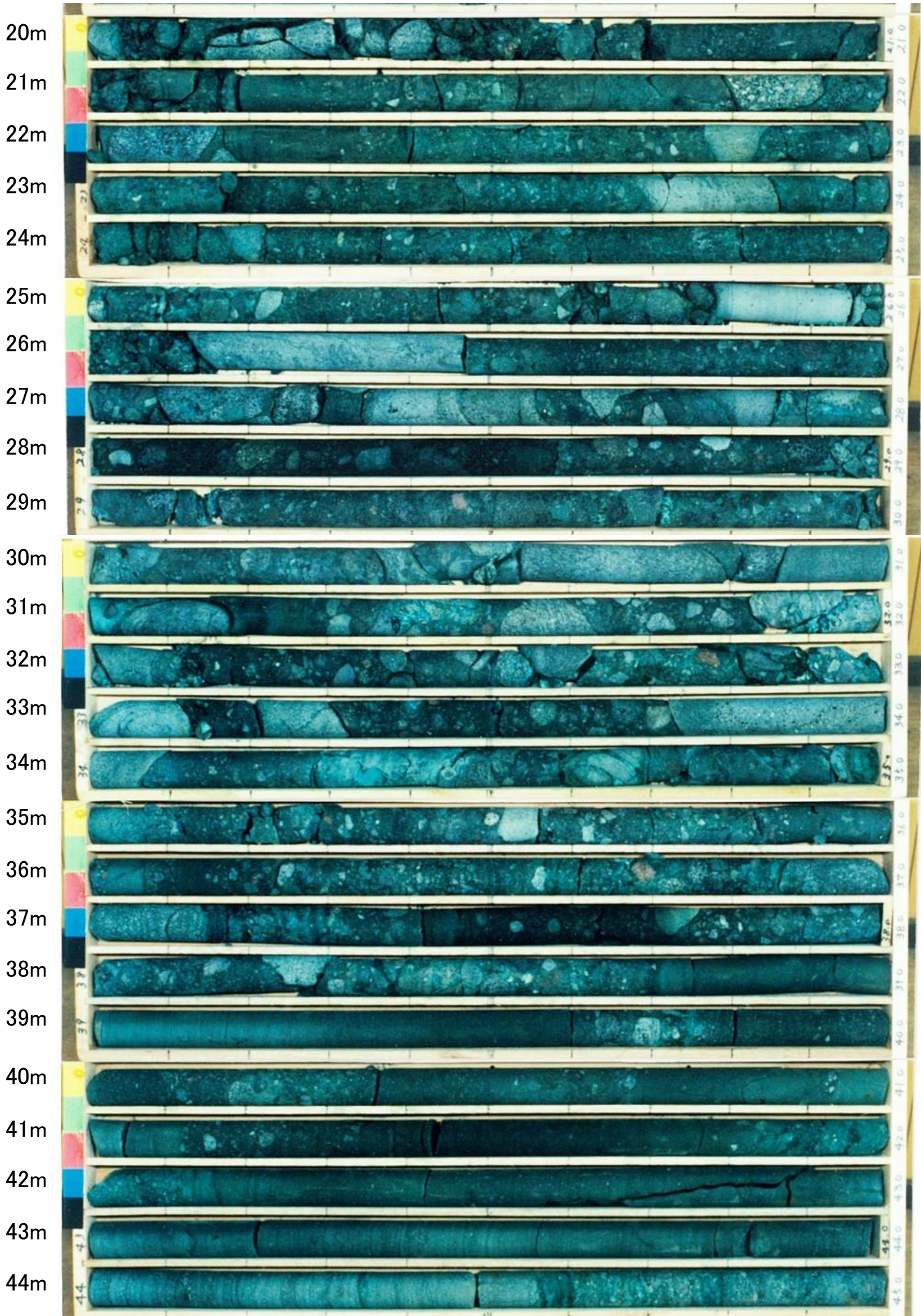
標尺 m	深 度 m	標 高 (T.P.) m	柱 状 図	地 層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観 察 事 項	
									最大コア長 cm			
									R	Q D		
0 20 40 60 80 100 [%]												
21	20.83	-12.78	[Pattern]	泊層上部層	tb	ℓ	黄灰		23	[26]	22.18~22.52m: 円礫を多く含む凝灰岩。	
	21.34	-13.29			tf	ℓ			25	[56]		
22	22.18	-14.13	tb		ℓ	黄灰	22		[68]	23.86~30.00m: 礫は円礫が多い。		
	22.52	-14.47	tf		ℓ		29		[83]			
26	25.77	-17.72	[Pattern]		lp	ℓ	灰リ-フ			17	[53]	24.55m: 礫に沿う断裂に鏡肌を伴う。
										18	[28]	
27	34.80	-26.75	[Pattern]		tb	ℓ	黄灰			36	[89]	25.58~25.97m: 基質が細粒で礫は円礫化する。
										18	[80]	
35	35.30	-27.25	[Pattern]		tf	ℓ	暗リ-フ 褐			22	[78]	27.91~27.97m: 礫の周囲が青緑色を呈する。
	36.17	-28.12								22	[59]	
36	35.86	-27.81	[Pattern]	lp	ℓ	黄灰		27	[94]	31.00~31.50m: 礫の周囲及び基質部が青緑色を呈する。		
	36.17	-28.12						16	[48]			
39	39.67	-31.62	[Pattern]	tf	ℓ	暗リ-フ 褐		27	[94]	34.30~34.80m: 割れ目沿いに青緑色化する。		
	39.74	-31.69						22	[68]			
40	40.10	-32.05	[Pattern]	lp	ℓ	黄灰		28	[68]	36.36~37.50m: 基質部が青緑色を呈する。		
	40.35	-32.30						25	[100]			
41	41.13	-33.08	[Pattern]	tf	ℓ	暗リ-フ 褐		28	[68]	38.30~38.70m: 礫の周辺が特に青緑色化する。		
	41.37	-33.32						29	[98]			
42	41.13	-33.08	[Pattern]	lp	ℓ	黄灰		32	[97]	41.88~42.18m: 基質部が青緑色化する。		
	41.37	-33.32						28	[90]			
43	44.61	-36.56	[Pattern]	tf	ℓ	リ-フ 灰		41	[92]	42.57~42.80m: 基質部が青緑色化する。 42.70~42.90m: 鏡肌を伴う傾斜約75°の割れ目あり。葉理にズレは見られない。		
	45.00	-36.95						34	[80]			
45	45.00	-36.95	[Pattern]	lp	ℓ			35	[100]			

O-10 孔

孔口標高: T.P. 8.05 m

掘進長: 150.00 m

20.00~45.00 m



余 白

03-1孔

(f-2断層)

03-1 孔

孔口標高 T.P. 3.83 m 掘進長 220.00 m

標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色調	風化 区分	コア採取率 (%)		観察事項			
									最大コア長 cm					
									R	Q D [%]				
									0 20 40 60 80 100					
6	6.75	-2.92		泊層上部層	tb	v	褐灰		15 66	100	6.9~7.0m付近：基質が緑色を帯びている。 9.75m付近：割れ目沿いに風化し、一部で岩片状を呈する。 10.23~10.28m：凝灰岩(石質)が分布し、傾斜約5°の葉理が認められる。 10.75~10.80m：凝灰岩(石質)が分布し、ほぼ水平な葉理が認められる。 11.40m付近：割れ目沿いに風化し、軟質化している。 12.15~12.21m：f-2断層。上面の傾斜約20°、下面の傾斜約10°の破砕部。幅6.0cmでシルト状~細片状からなるが、最下部は幅0.1~0.2cmの粘土状部からなる。 18.20~18.49m：凝灰岩(石質)及び火山礫凝灰岩(石質)が分布する。 18.40~20.00m付近：基質が部分的に緑色を帯びている。			
7	7.80	-3.97			lp	v	カーブ黒 暗青緑		23 58	100				
8					カーブ黒	47 72	100							
9	12.15 12.21	-8.32 -8.38			fault	-	-		-	カーブ灰		40 94	100	
10												灰褐 カーブ黒	22 72	100
1												カーブ灰	18 50	100
2	20.00	-16.17				泊層上部層	tb		v	カーブ黒		17 41	100	
3												4 2	33 86	100
4												カーブ黒	42 100	100
5													35 86	100
6			暗青緑	38 96				100						
7				34 100				100						
8			カーブ黒	27 98				100						
9				23 91				100						

03-1 孔

孔口標高:T.P. 3.83 m

掘進長:220.00 m

5.00~20.00 m



余 白

03-2孔

(f-2断層)

03-2 孔

孔口標高 T.P. 7.43 m 掘進長 310.00 m

標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色 調	風化 区分	コア採取率 (%)		観察事項							
									→									
									最大コア長 cm									
									R	Q D								
0 20 40 60 80 100																		
26			泊層上部層		tb	ø	緑黒		28 [90]	100	25.00~29.60m付近：基質が部分的に緑色を帯びている。							
27									28 [90]	100								
28									31 [90]	100								
29									30 [100]	100								
30	30.00 30.41	-22.57 -22.98							28 [90]	100		lp	ø	緑黒		32 [90]	100	30.20m付近：f-2断層。傾斜約10°~20°の節理状。挟在物は認められない。
31									42 [100]	100								
32									29 [98]	100		tb	ø	緑黒		36 [100]	100	33.10~34.80m付近：基質が部分的に緑色を帯びている。
33									31 [100]	100								
34									37 [100]	100		tf	ø	緑黒		33 [100]	100	35.89~36.62m：凝灰岩(石質)が3層分布する。層厚は4~12cmで、傾斜約5~10°の葉理が認められる。
35	34.97 35.43	-27.54 -28.00							29 [98]	100								
36			tb		ø	オリーブ黒			37 [98]	100	37.85~39.50m：傾斜約0~20°の斜交葉理が認められる。							
37	37.72	-30.29							37 [98]	100								
38	38.21	-30.78							38 [100]	100								
39	38.72	-31.29							38 [100]	100								
40	40.00	-32.57	tf		ø	緑黒 暗黄緑			71 [100]	100	39.50~40.00m：傾斜約0~15°の葉理が認められる。 39.60~40.00m付近：基質が部分的に緑色を呈する。							

O3-2 孔

孔口標高:T.P. 7.43 m

掘進長:310.00 m

25.00~40.00 m



余 白

○3－4孔

(f－2断層)

03-4 孔

孔口標高 T.P. 4.90 m 掘進長 305.00 m

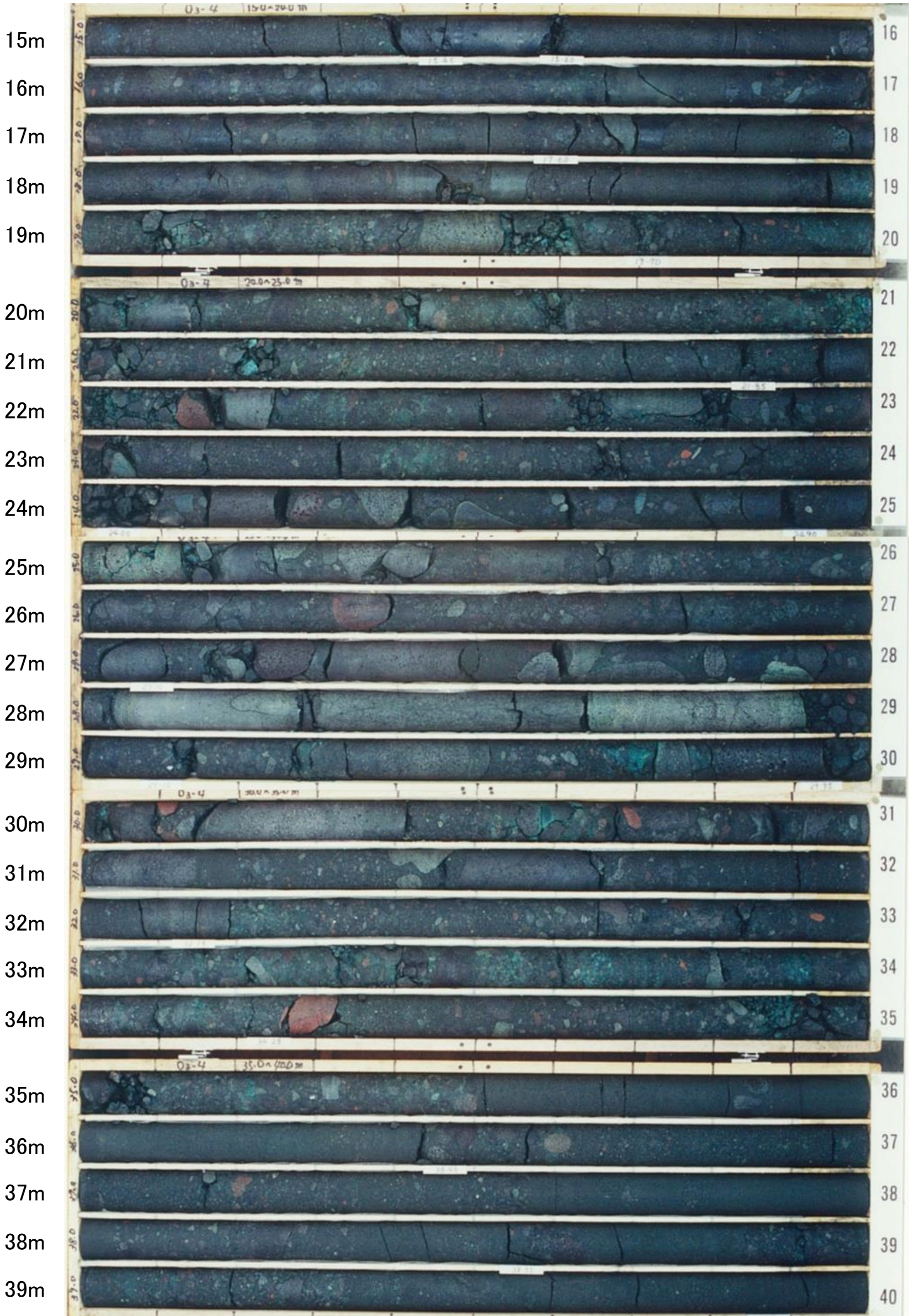
標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色調	風化 区分	コア採取率 (%)		観察事項	
									最大コア長 cm			
									R	Q D		
0 20 40 60 80 100 [%]												
16	15.95	-11.05		泊層上部層	tf	ℓ	オリーブ黒		23	[77]	15.39~15.59m: 安山岩の大礫が認められる。	
17					tb	ℓ			36	[94]	16.66~16.81m: 凝灰岩(石質)が分布する。	
18					tf	ℓ			24	[85]	17.74~17.95m: 凝灰岩(石質)が分布する。	
19	18.58	-13.68			lp	ℓ			27	[76]	約18.9~約23.5m: 基質が部分的に緑色を帯びている。	
20	19.10	-14.20			tb	ℓ	30		[79]	20.61m: 傾斜約5°の変質鉱物脈。幅0.2cmで暗灰色を呈する。		
21					lp	ℓ	34		[75]			
22	21.75	-16.85			tb	ℓ	44		[77]	約25.0~約25.1m: 礫の気孔を緑色の鉱物が充填している。		
23	23.07	-18.17			lp	ℓ	28		[72]			
24	24.00	-19.10			tb	ℓ	32		[91]			
25					tf	ℓ	20		[73]			
26				泊層上部層	tb	ℓ	オリーブ黒	32	[67]	約29.7~約35.7m: 基質が部分的に緑色を帯びている。		
27					tb	ℓ		37	[100]			
28					tf	ℓ		18	[66]			
29					lp	ℓ		27	[90]			
30					tb	ℓ	21	[77]	約35.5~約42.0m: ほぼ水平~傾斜約15°の葉理が認められる。			
31					lp	ℓ	25	[70]				
32	31.78	-26.88			tf	ℓ	44	[99]				
33	32.08	-27.18			lp	ℓ	47	[88]				
34						泊層上部層	tf	ℓ	オリーブ黒	21	[92]	36.44~36.62m: 火山礫凝灰岩(石質)が分布する。
35	35.51	-30.61					lp	ℓ		54	[76]	
36			tf	ℓ			43	[89]	38.90~39.00m: 火山礫凝灰岩(石質)が分布する。 39.09~39.35m: 火山礫凝灰岩(石質)が分布する。			
37			lp	ℓ			44	[100]				
38			tf	ℓ			44	[100]				
39			lp	ℓ			27	[95]				
40	40.00	-35.10	tf	ℓ	41	[100]						

03-4 孔

孔口標高: T.P. 4.90 m

掘進長: 305.00 m

15.00~40.00 m



余 白

03-5孔

(f-2断層)

03-5 孔

孔口標高 T.P. 7.32 m 掘進長 210.00 m

標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色調	風化 区分	コア採取率 (%)		観察事項	
									最大コア長 cm			
									R	Q D [%]		
0 20 40 60 80 100												
1	1.00	6.32		第四系	pt				0	[0]	2.65m : 岩盤上面付近がf-2断層に相当。破碎部は不明瞭。	
2	1.78	5.54			si(s)				0	[0]		
	2.10	5.22			s(gr)				0	[0]		
3	2.65	4.67			s					0		[0]
4	4.38	2.94		泊層上部層	tb		明褐	4	0	[0]	6.43~6.50m : 幅7cmの珪質岩を含む。 6.53~6.82m : 凝灰岩(石質)が分布する。 7.22~7.30m : 凝灰岩(石質)が分布し、傾斜約10°の葉理が認められる。 約7.3~約7.5m : 基質が部分的に緑色を帯びている。 11.61m : 傾斜約5°の破碎部。幅0.5~1cmで茶褐色~緑灰色のシルト状~細片状部からなる。 11.61~11.80m : 凝灰岩(石質)が分布する。 12.58~12.65m : 凝灰岩(石質)が分布し、傾斜約10°の葉理が認められる。	
5					tb	v	暗黄褐	3	0	[0]		
6	6.53	0.79			tb	v	オリーブ黒		37	[82]		
7					tb	l	暗黄橙	3	37	[80]		
8	8.27	-0.95							93	[84]		
9									49	[100]		
10									53	[100]		
11									37	[91]		
12							tb	v	オリーブ黒	38		[100]
13									53	[96]		
14							52	[100]				
15	15.00	-7.68					47	[92]				

O3-5 孔

孔口標高:T.P. 7.32 m

掘進長:210.00 m

0.00~15.00 m



余白

03-7孔

(f-2断層)

03-7 孔

孔口標高 T.P. 6.78 m 掘進長 307.00 m

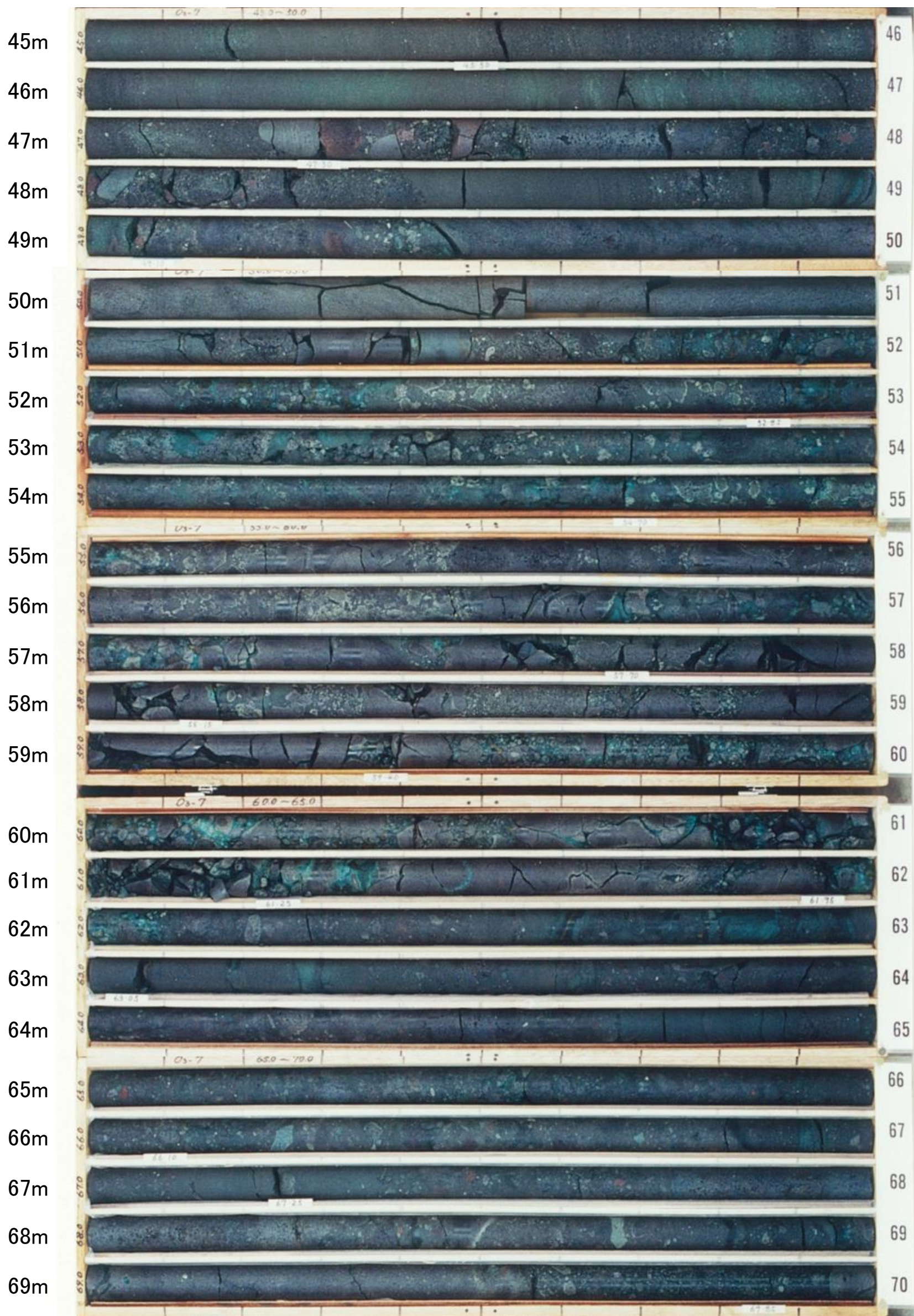
標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩石 名	岩相 区分	色調	風化 区分	コア採取率		観察事項
									→ (%)		
									最大コア長 cm		
									R Q D [%]		
									0 20 40 60 80 100		
46			[Pattern]	泊層上部層	tf	∅	オリーブ黒		47 [100]	100	46.26m~46.40m : 全体がやや緑色に変質。
47	47.22	-40.44			tb	∅			56 [99]	100	
48	48.42	-41.64	[Pattern]		tf	∅	暗緑灰		19 [70]	100	48.03m~48.10m : 礫の気孔及び基質中に、斑紋状に暗緑色の変質が認められる。
49	49.07	-42.29	tb		v	54 [92]			100		
50	50.00	-43.22	[Pattern]		tb	∅	暗オリーブ灰		32 [88]	100	51.48m以深 : 急冷周縁相のある亜円礫を含む。
51	51.72	-44.94	tb		v	13 [60]			100		
52	52.40	-45.62	[Pattern]		an	bt	暗青緑		38 [100]	100	暗オリーブ灰
53			42 [95]						100		
54			39 [100]						100	灰オリーブ緑	
55			35 [100]						100		
56						灰黒	42 [100]	100	青緑		
57						青緑	22 [53]	100			
58	58.50	-51.72				灰黒	21 [57]	100			
59						青緑	21 [33]	100			
60				an	bv	灰黒	19 [72]	100	灰黒		
61										15 [47]	100
62	62.10	-55.32	[Pattern]	lp	∅	オリーブ黒	72 [100]	100	66.93m : 傾斜約10° の変質鉱物脈。フィルム状~0.5cm幅で淡青色~乳白色を呈する。 67.24m : 傾斜約20° の変質鉱物脈。フィルム状で暗灰色~灰白色を呈する。		
63	62.95	-56.17	tf				∅	52 [88]		100	
64	63.62	-56.84	tb				v	47 [100]		100	
65	64.67	-57.89	tf				∅	43 [100]		100	
66	64.90	-58.12	lp				∅	81 [100]		100	
67	65.65	-58.87	lp				v	40 [92]		100	
68	65.90	-59.12	lp				∅	45 [97]		100	
69	66.13	-59.35	lp				v	29 [100]		100	
70	66.90	-60.12	tf				∅	灰黒		69.65m~70.00m : 径5~10mmの亜角礫~亜円礫を多く含む。	
70	67.38	-60.60	lp				∅				
70	67.65	-60.87	tb	v							

03-7 孔

孔口標高:T.P. 6.78 m

掘進長:307.00 m

45.00~70.00 m



45m
46m
47m
48m
49m
50m
51m
52m
53m
54m
55m
56m
57m
58m
59m
60m
61m
62m
63m
64m
65m
66m
67m
68m
69m

46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70

余 白

S2-14孔

(f-2断層)

S2-14 孔

孔口標高 T.P. 6.67 m 掘進長 75.00 m

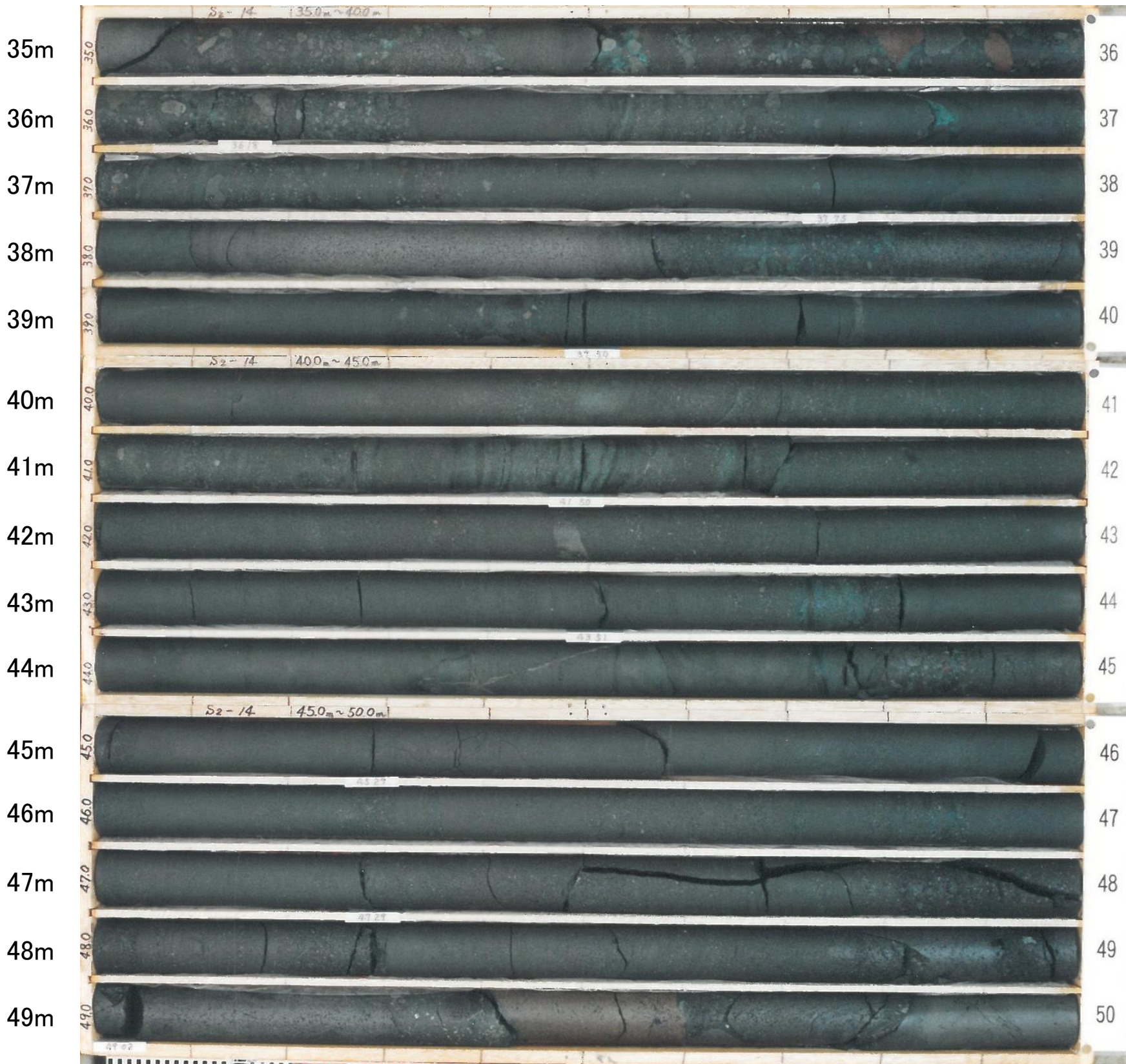
標尺 m	深 度 m	標高 (T.P.) m	柱状 図	地層 名	岩 石 名	岩 相 区 分	色 調	風 化 区 分	コア採取率 (%)		観察事項	
									最大コア長 cm			
									R Q D [%]			
									0 20 40 60 80 100			
36	36.31	-29.64	泊層上部層	tb	0	オーブ黒	緑黒		51 [100]	100	38.10~38.59m, 38.81~38.97m: 安山岩礫からなる。	
37				tf	0	オーブ黒			51 [91]	100		
38	38.1	-31.43		tb	0	暗緑灰			74 [100]	100		
39	38.97	-32.30		tf	0				42 [96]	100		39.35~39.47m: 凝灰岩。径5cm以下の礫が混入する。
40			泊層上部層	fault					49 [90]	100	40.64~40.65m: f-2断層。 ①傾斜40°。幅1~3mmの灰色粘土を挟在する。鏡肌, 条線(90°)あり。 ②傾斜40°。幅1mmの灰色粘土を挟在する。鏡肌, 条線(90°)あり。 ①と②は合流し2条間は軟質な粘土混じり砂状を呈する。	
41	40.64 40.65	-33.97 -33.98							50 [96]	100		
42				tf	0				30 [87]	100		42.48m: 径4cmの安山岩礫が混入する。
43									73 [100]	100		42.93m: 傾斜8°を示す割れ目。幅1mmのオリーブ黒色を呈する半固結粘土を挟在する。鏡肌, 条線はみられない。層理面に沿い分布する。する。
44									31 [100]	100		
45	44.80 44.90	-38.13 -38.23		lp	0				28 [93]	100		44.80m: 傾斜25°を示す粘土シーム。フィルム状黒灰色軟質粘土を挟在する。鏡肌, 条線(90°)あり。
46									38 [97]	100		44.81~48.75m: 部分的に緑色変質を被る。
47			tf	0		100 [100]	100		45.59m: 傾斜4°の割れ目。幅0.3~1.0mmの灰色軟質粘土を挟在する。鏡肌, 条線はない。			
48						28 [90]	100		47.49m: 傾斜6°の粘土シーム。フィルム状緑黒色軟質粘土を挟在する。鏡肌, 条線(R65°)あり。			
49	48.75	-42.08				21 [96]	100		47.68m: 傾斜6°の粘土シーム。フィルム状緑黒色粘土を挟在する。鏡肌, 条線(0°)あり。			
50	50.00	-43.33		tb	0				27 [96]	100	48.75~50.00m: 凝灰角礫岩。礫は径10~30mmの安山岩礫を主体とする。	

S2-14 孔

孔口標高:T.P. 6.67 m

掘進長:75.00 m

35.00~50.00 m



余白